

大型建築物まで総合的な対応力を發揮

木軸壁パネルの新工場建設中

スカイ

スカイ（静岡県磐田市、金澤和孝社長）は、通算通じてきた設備投資により生産効率の高いラインを構築し、一般住宅から大型木造建築物まで幅広い需要に対応している。

一方、加工実績の約16%を占める非住宅物件は順調で、今後も増加を見込んでいる。

なお、年内には木軸壁パネル「スカイパネル」の製造工場の稼働開始を予定しており、2021年度の加工実績は8万5000坪（前年度比10%減）を高めしていく。

同社は天竜川沿いの豊岡エリアで本社工場に対しては、全自動CNC加工機（ユニチーム）



CL-Tや大断面材に対応する全自动CNC加工機

が中小判CL-Tパネルの高効率加工を実施し、特殊な手加工部分に

も対応するこ

とで人的な負担を軽減して

いる。

船明柱工場には宮川工機の全自動柱材加工機MPS-134（2ライ

ル）の製造工場の稼働開始を予定しており、グレーティング機能付

めの材表面清掃装置、方材と断熱材を取り付けた直壁タイプの壁

パネル。工場生産による安定した品質と性能を軸に、短期間や省力化、現場の荷役削減などに貢献する。現在、

CL-Tや大断面材に対応する全自动CNC加工機（ユニチーム）を導入

し、管柱、通し柱、小柱厚600mm×材せん3000mm×全長14mの4面プレーナーを用いています。また、各加工を専用ラインに分担させ高効率化している。

今年度の加工量目標は9万5000坪。ウ

スカイショックの影響を大きく受けた昨年の反

省から木材調達網の独

自構築に努め、改めて

安定した供給体制を確

立していく方針だ。

新事業のスカイパネルは、PBノボランや

計画